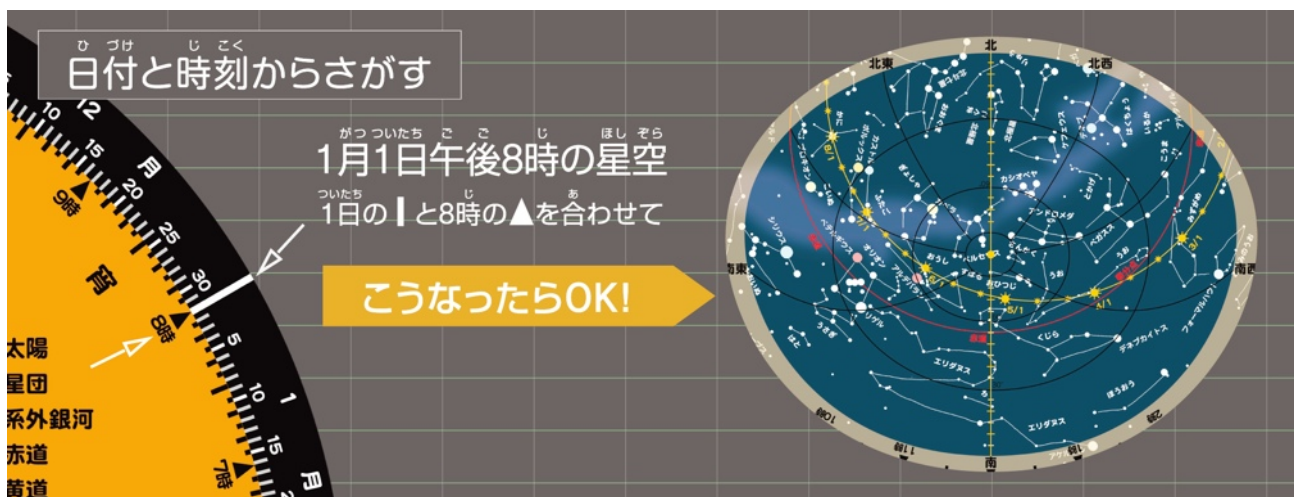
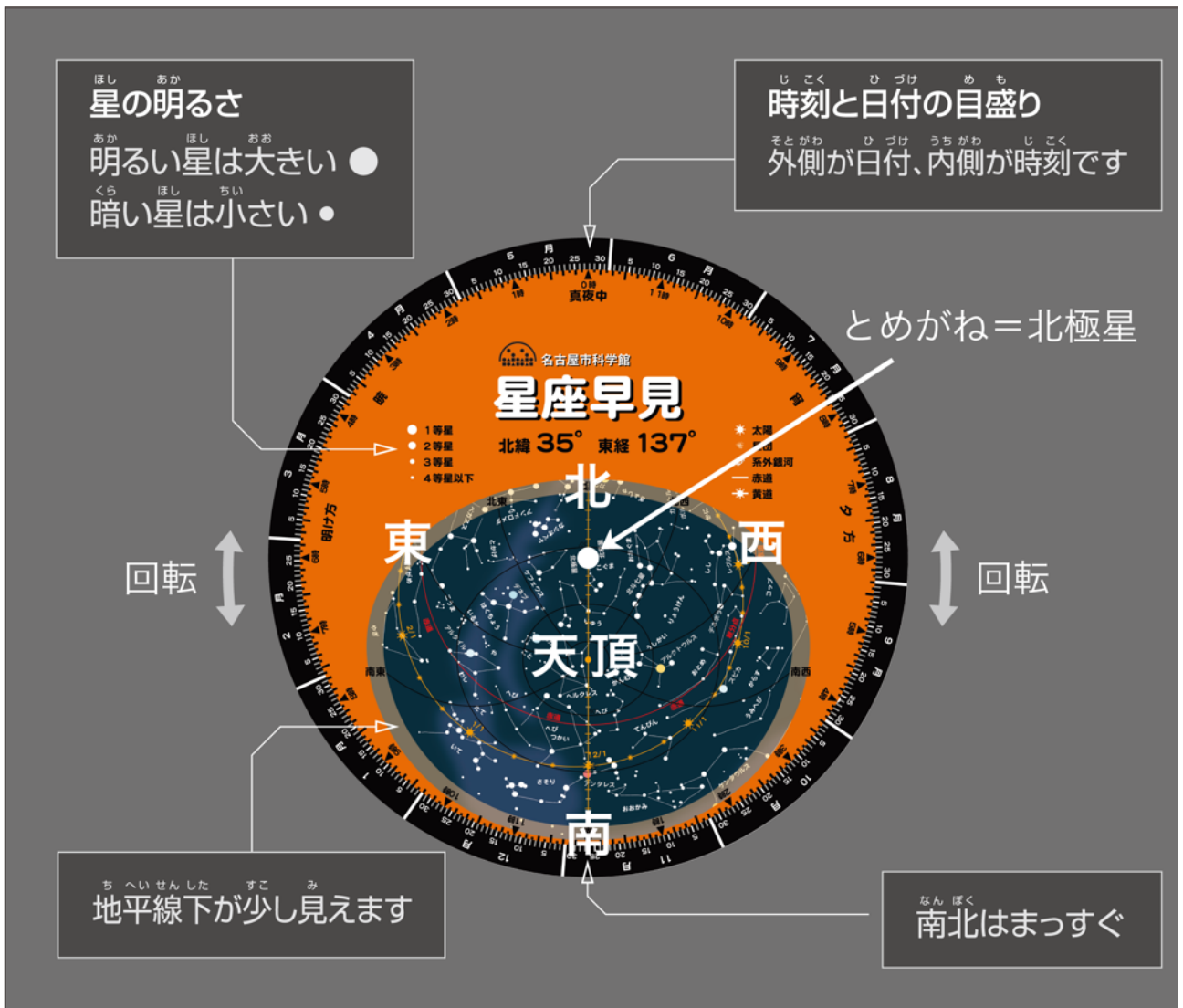
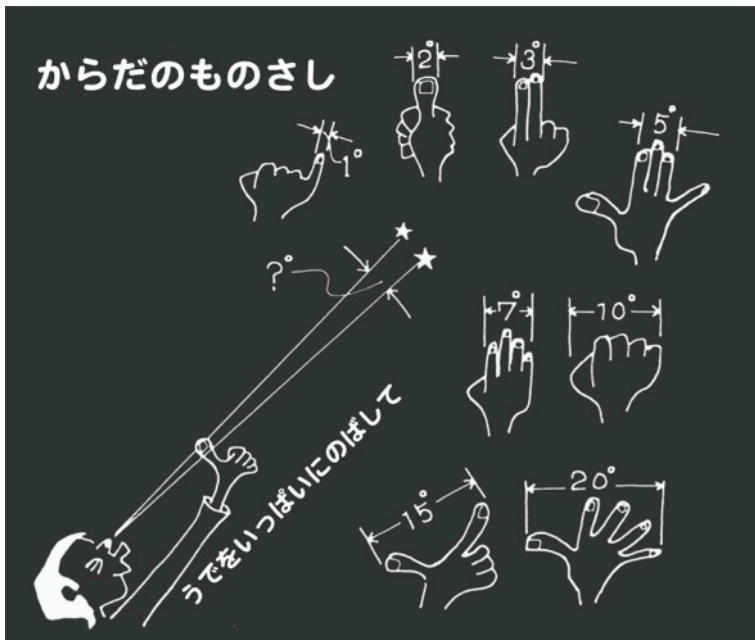


# E 星座をみつけよう

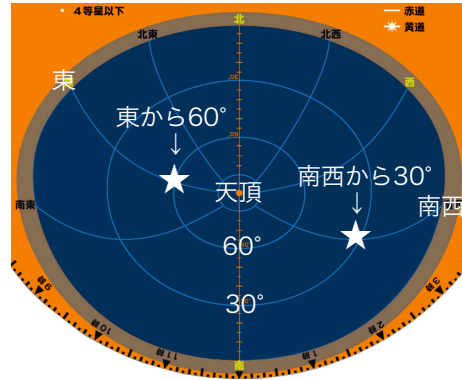
## ★星座早見の基本





## ★見上げる角度をはかる

名古屋市科学館の星座早見には地平線からの角度の目盛りがあります。見つけたいの星の方角と高さを読み取ったら、からだのものさし(左図)で角度を測って見上げましょう。



## ★ペルセウス座流星群を見よう

今年(2013)のペルセウス座流星群は月明かりがなく好条件です。流れ星は下図のように空のあちこちに流れますから、ペルセウス座とは関係なく夜空の広い範囲を見るのがコツ。空の開けた所で寝転んで見上げるのが最高です。北東の空から、四方八方に広がる向きに流れ星が飛びます。その中心がペルセウス座の方向にあるので、ペルセウス座流星群と呼ばれます。市街地では1時間に10個程度で、ひっきりなしに次々と流れるわけではありません。5分や10分では一個も見られないかもしれないので、30分とか1時間とか、長い時間じっくり観察してみましょう。

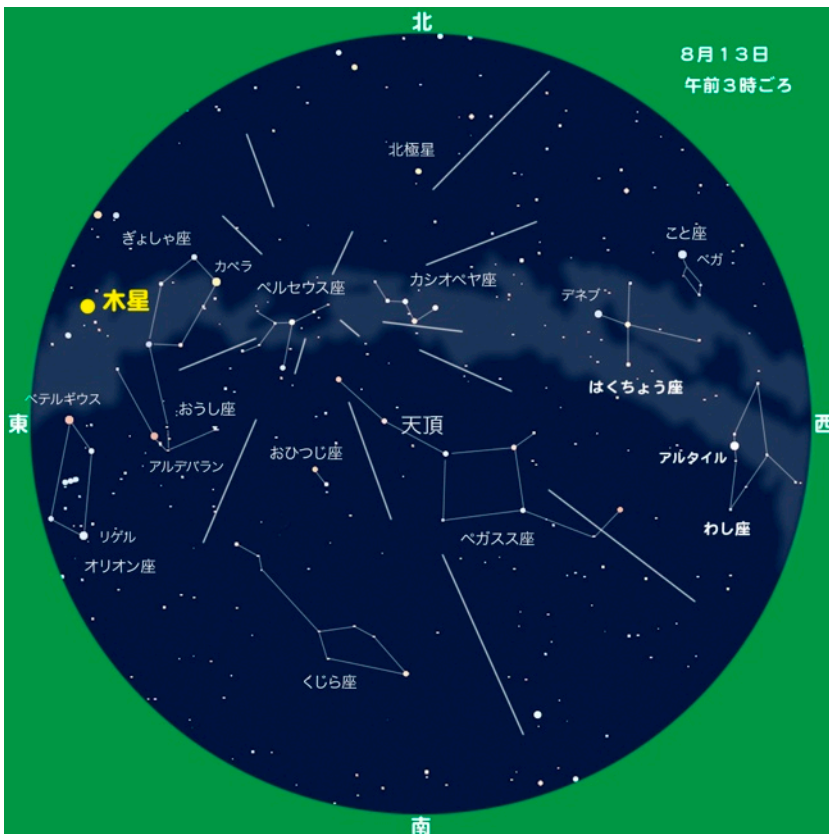
流星がたくさん見えそうなのは、8月10日、11日、12日の夜です。いずれの夜も、真

夜中(0時すぎ)から明け方(4時頃)までがオススメです。

晩御飯を食べたら、まずちょっと寝て、夜中に目覚ましをかけて観察というのが良いでしょう。

深夜になりますので、保護者の方と一緒に、安全に注意して観察して下さい。方角を分担してみんなで見るのが楽しいです。

流れ星は上空100kmもの高いところで光って消える現象です。くもっていると見えませんので、天気予報を参考に、晴れそうな夜に観察してみましょう。



## ★夜間観望会について

7月21日（日）の夜、サイエンスクラブの夜間観望会（第1回目）を開催します（中学生クラスと合同）。屋上天文台の口径80cm大望遠鏡で**土星**を観望します。

※夜間におこないますので、保護者の方と一緒に参加してください。

### ●時間：午後8時～午後9時

この時間内の都合の良い時間に、科学館エントランスホールへ来てください。入り口のスタッフが天文台までの行き方を案内します。スタッフに会員証を見せて、保護者の方と一緒に入館してください。

屋上天文台では順番に観望し、見終わった人から流れ解散となります。プラネタリウム・教室等でのお話はありません。

開始直後と終了間近は混雑する可能性があります。また午後9時を過ぎると土星は低くなって見えなくなりますので、終了時間より少し前までに来てください。

### ●持ち物：サイエンスクラブの会員証

### ●くもりや雨の場合：

くもったり雨が降ったりした場合、天体を見ることはできません。**当日の空もようを見て判断の上**、来館してください。

もし当日くもった場合でも、科学館では、晴れ間が出たらすぐ見られるように望遠鏡を準備して待機しています。ただし、まったく回復が望めないような悪天候の場合は中止とさせていただきます。また、当日午後6時までに名古屋市において、暴風警報、暴風雪警報、東海地震注意情報が発令された場合は中止となります。

## ★土星の環の見え方の変化（約30年で一周します）

